

中央大学工学部電気電子情報通信工学科同窓会

# 同窓会々誌



2010-10 第47号

平成22年度 総会・懇親会 は11月20日 (土)

## 会誌第47号 目次

ごあいさつ	会長 菱沼 一夫	3
電気電子情報通信工学科及び工学専攻の近況報告	教授 木下源一郎	4
お別れのことば (猪狩先生)	教授 白井 宏	8
お別れのことば (有馬先生)	市川友之	10
新任のごあいさつ	教授 久保田 彰	11
新校舎建設計画の概要	事務長 二澤 英治	15
私の近況『世界で通用するビジネスパーソンになるために』	鳥巢 正義	17
私の近況『技術と芸術』	西川 健二	17
同窓会新会員のご紹介		19
会誌発行事業費の集計報告 (その9)		20
会計報告		21
同窓会財務委員会より	辻 正吾	22
同窓会ホームページのご案内	秋田 隆史	23
会誌をWebで閲覧		24
修士論文発表会 同窓会賞		25
同窓会賞・受賞者からのコメント		30
会員からのお便り		34
総会時開催講演会の要旨	林 直司	38
編集後記		39
同窓会総会・懇親会開催のお知らせ		40



## ごあいさつ

会長 菱沼一夫

会員の皆様元氣でご活躍のことと拝察いたします。同窓会誌第47号をお届けします。

天野浩志前会長を引き継いでのお役も2年目を迎えています。

同窓会の実務運営の分担を図り副会長さんに[総務]、[財務]、[会誌]、[事業]、[HP運営]の仕事を手分けして頂いています。

本会誌47号は会誌担当の飯塚信市副会長の手によるものです。各位の積極的な協力を戴き本号は多くの会員に登場いただける刷新が図られています。

既に同窓会のホームページでも紹介してありますが、理工学部の5号館建設を記念して贈呈したケヤキの植樹は大きく成長して理工学部の象徴にも成っていました。しかし新校舎の建設に伴い伐採されました。この敷地に建設される新校舎の概要を新事務長の二澤英治様に特別寄稿して頂きました。

我々の同窓会の最大の役割期待は会員各位が思い付いた時に母校の《①同窓会の活動状況、②大学の現状、③出身研究室の動向、④ゼミの同窓会動向》の容易なコンタクトができるようなシステムを提供することにあると考えます。自前のホームページは[HP運営委員会](秋田隆史副会長)と[財務委員会](辻正吾副会長)の積極的な取り組みで会員へのタイムリーな情報紹介手段としての成果を発揮しています。私もそうですが、古い卒業生は所属していた研究室が終焉してしまっていて、連絡基点を失ってしまった方が沢山おられると思います。電気同窓会のホームページが“Information Center”として機能できるように

更に充実させていきたいと考えています。今迄、卒業生への入会勧誘は各研究室の先生を経由して案内をしていました。今年度は財務委員会(委員長:辻正吾副会長)の発案で全対象者の個人宛の封書を作り、研究室に直接訪問して個人に手渡す作戦を実行しました。今日の学生さん達の学業振りを直接拝見して、又同窓会の認識や評価を直接お聞きしました。この取り組みは徐々にではありますがありますが成果を見ることができています。

7回目の修士論文の「同窓会賞」には今年も同窓生の起業社のアイコンテクノ社、シチズン千葉精密社、菱沼技術士事務所、新規にウッズ社さんに加わって戴き、9件の発表に授与しました。

本年の同窓会総会では裏表紙の紹介のように40年度卒業(山口功委員長)のご担当で11月20日(土)に上野精養軒で開催されます。お誘い合わせの上、多数のご参加戴き懇親を深めて戴きたいと存じます。

本号は沢山の方のご協力での十分な原稿をお寄せ戴きました。ありがとうございます。飯塚編集長は嬉しい悲鳴を上げるとともにページ数が多くなると数万円の郵送料がかさむので苦勞をしています。

改めて各位にお願いします。当会には固定的な運営資金の調達方法が漸入会員の加入しかありません。

各位の会誌発行協賛金の協力を改めてお願いします。昨年の同時期には政治的維新の期待がありました。この期待の変革は行われましたが、直近の選挙では新たな国民的判断が出されています。混沌とするのか?

では同窓会総会でお会いしましょう。

(7月19日記 昭和39年卒)

## 電気電子情報通信工学科 及び工学専攻の近況報告



電気電子情報通信工学科 教授 木下 源一郎

平成 22 年度の電気電子情報通信工学科ならびに電気電子情報通信工学専攻の主任として、皆様の日頃の各種御支援に深く感謝を申し上げます。

本年度は中央大学理工学部の学部長ならびに研究科の委員長が兼職となつて、我々の学科も主任と研究科委員長を一人で行うことになり、本年度の担当である私自身はちょっと当惑しております。先生方は学部と大学院の重複する部分が 1 回で済み、効率化が図られるのではないかと好感を持っているようですが、一方、担当者は大変なことで、盆と正月が一緒に来たようで頭の中が時々パニックを起こすことがあります。

さて、本学科の教育状況は、11 名の教授、1 名の准教授、1 名の助教授の計 13 名の教員によって行われております。学生数は 4 年次 168 名で、4 年次以降が 34 名おります。

下記に、教員の氏名と専門分野について記載いたします。

- ・稲葉 次紀 教授 (電力エネルギー、大電流アークプラズマ、故障対策、環境改善技術)
- ・今井 秀樹 教授 (情報理論、情報セキュリティ)
- ・木下 源一郎 教授 (ロボット工学、計測制御工学、センシング工学)
- ・小林 一哉 教授 (電磁波論)
- ・篠田 庄司 教授 (回路、ネットワーク、システム工学)
- ・庄司 一郎 教授 (レーザ、非線形工学)
- ・白井 宏 教授 (電波工学)
- ・杉本 泰博 教授 (集積回路工学)
- ・築山 修治 教授 (VLSI 設計技術、アルゴリズム工学)
- ・二本 正昭 教授 (情報記録、電子材料工学)
- ・山村 清隆 教授 (情報数理工学)
- ・国井 泰晴 准教授 (宇宙ロボット、テレロボティクス、バーチャルリアルティ)
- ・久保田 彰 助教 (信号・画像処理、情報通信)

次に、研究科の状況ですが、教授陣は同じですが、学生数は 124 名(内女子 1 名)、後期課程が 1 名です。この後期課程というのはいわゆる博士課程であり、二本教授のところには 1 名おります。

久保田助教は昨年よりお見えになり、画像処理等を専門としている若手の方です。

また、2009 年 11 月 9 日に有馬純照先生 (享年 83 歳)、2009 年 11 月 17 日に猪狩武尚先生 (享年 78 歳) がお亡くなりになりました。現在のところ猪狩先生の後任は現在検討中です。

さらに、卒業生の就職状況ですが、皆様ご存じのように、本年度は大変厳しく、理工キャリア支援課が纏めた実績は表 1 のようになります。

表1 中大理工 進路先ランキング

(1) 学部卒

2010年3月卒業 【学部生】の就職先トップ30		上場区分	学 部			
			10.3 卒		09.3 卒	
			計	女	計	女
1	NTTデータ	東証一部	14	1	12	2
2	東日本旅客鉄道 (JR東日本)	東証一部	13	1	9	2
3	東京都庁 [公務員]		7	1	4	1
4	NTTコムウェア		5	1	5	1
5	本田技研工業 (ホンダ)	東証一部	5		5	
6	TIS		4	1	2	
6	アイ・ティ・フロンティア		4		1	1
6	キヤノン	東証一部	4		16	
6	神奈川県教育委員会 [公立教員]		4		4	
10	キヤノンマーケティングジャパン	東証一部	3			
10	みずほトラストシステムズ		3	2	1	
10	セイコーエプソン	東証一部	3			
10	日立ソフトウェアエンジニアリング		3		1	
10	ソフトバンク	東証一部	3	1	7	1
10	みずほ情報総研		3		6	2
10	三菱電機ビルテクノサービス		3			
10	穂高		3			
10	神奈川県庁		3		1	
10	日立システムアンドサービス		3		2	
10	埼玉県庁		3	1	1	
10	大塚商会	東証一部	3			
22	スズキ	東証一部	2		2	
22	日立製作所	東証一部	2		3	
22	ロッテ		2	1	1	
22	野村総合研究所	東証一部	2		2	
22	千葉県教育委員会 [公立教員]		2		2	
22	埼玉県教育委員会 [公立教員]		2			
22	東日本電信電話 (NTT東日本)		2		4	2
22	ブリヂストン	東証一部	2	1	1	
22	みずほファイナンシャルグループ	東証一部	2		2	

とくに、早くから進学も含めたキャリア形成に取り組んで目的意識をもって勉学や就職活動に臨んだ学生と、社会で必要される力を伸ばしきれなかった学生の「二極化」が進行しています。

また、この時期になっても自分の進路が決められずに、無業者という範疇で統計処理される学生が10名ほどおります。いずれにしても、中央大学理工学部就職率はほぼ100%に近い数字となっております。

(2) 大学院卒

2010年3月卒業 【大学院生】の就職先トップ30		上場区分	大学院			
			10.3修		09.3修	
			計	女	計	女
1	日立製作所	東証一部	13	2	6	
2	リコー	東証一部	6		5	
3	キヤノン	東証一部	5		16	
3	東日本旅客鉄道 (JR東日本)	東証一部	5	1	1	
3	セイコーエプソン	東証一部	5		2	
6	東京都庁		4		3	1
6	トヨタ自動車	東証一部	4		5	
6	東芝	東証一部	4	1	1	
9	NTTデータ	東証一部	3		2	
9	日野自動車	東証一部	3		1	
9	東芝エレベーター		3			
9	東京電力	東証一部	3	1	1	
9	三菱電機	東証一部	3		1	
9	東京都教育委員会 [公立教員]		3	1	1	
9	KDDI	東証一部	3		1	
16	野村総合研究所	東証一部	2		1	
16	出光興産	東証一部	2		3	
16	セイコーインスツル		2	1		
16	富士ゼロックス		2			
16	ソニー	東証一部	2		3	
16	NTTコミュニケーションズ		2		1	
16	東日本電信電話 (NTT東日本)		2	1	3	
16	マブチモーター	東証一部	2			
16	富士重工業	東証一部	2		1	
16	ヤフー	東証一部	2		3	
16	国土交通省 [I種]		2			
16	NTTコムウェア		2		1	
16	ブリヂストン	東証一部	2		2	
16	日立ソフトウェアエンジニアリング		2		1	
16	富士ソフト	東証一部	2			



さて、私ごとになります。私は昨年 4 月より、東京稲城市から静岡県熱海市に住所を変えました。定年まであと残すところ 1 年余りとなって、自分の将来を考え、熱海市に住居を変えました。理由は私自身、海が好きで、魚釣りができ、また、簡単な山歩きもでき、そして、借金も少なく、残された期間を勤め先まで通勤できることが大きな条件となり、熱海市になりました。

熱海市は住んでみて分かったのですが、自分も含めて非常に年寄りが多い所です。このために、タクシーが多く、市内に 400 台ほどもあるそうです。

また、熱海独特の文化もあり、とくに、はじめてのお客は余り相手にされないようで、顔になると親身になってサービスして頂きます。また、マンションの周りはネオン街で、一晩では回りきれないようです。

私のマンションの前に、熱海芸妓見番があり、「華の舞い」などの催し物があり、なかなか生きのいいお姉さんがおります。

最近、熱海の人口も減少しており、熱海市長になり替わり、皆様方、とくに、大勢の若い方々が熱海に住居を構えて頂きたくお願い申し上げます。そこで、熱海に住まわれる方に私が経験しましたいくつかの点について申し上げ、熱海に住居を持たれる方の参考にして頂ければ幸いです。

まず、はじめに、熱海は熱海港の周りが丘陵地帯となっており、坂が多い土地です。年を取ったときのことを考えて、平らな地面の土地を選ぶことが第一条件です。私共のマンションに周りの丘陵地帯から引っ越してきて、生活の大変さをこぼした方がありました。小さな市街の周りは丘陵地帯で、毎日、

坂を上り下りしての買い物は大変であり、このためにタクシーが使われます。

また周囲には二、三のゴルフ場があり、熱海ゴルフ、西熱海ゴルフ、湯河原カントリーなど利用できます。市街地からタクシーでワンメーター程です。それぞれのゴルフ場は熱海港や相模湾に打ち込むような壮大なコースがあり、私自身楽しんでおります。いま、かみさんを特訓し、将来一緒にコースを廻りたいと考えておりますが、その前に私が倒れるかも知れません。

マンションに住んで、約 1 年経ちましたが、朝起きて、海の色を鑑賞し、遠くに霞む房総半島を眺め、また、近くにある初島、遠方に見えるはずの大島を探し、それから熱海温泉を堪能して、大学に向かいます。私の皮膚の色も白くなり、しっとりに変化して、また、疲労回復にもよく、日々温泉を楽しんでおります。

これから夏場は海水浴と花火大会、夏祭りと色々と催し物が多くなります。花火大会は長時間ではありませんが、ドーン、ヒュルヒュルと上がって、ドカーンと地響きが腹に響き、大輪の花が咲く様子は言葉になりません。ベランダからビールを片手に、さわやかな風を受けて花火を鑑賞するのは好いものです。

夏祭りは 7 月に入ると子供たちが練習を始め、いわゆる夏の風情を醸し出します。

こんな熱海に住んでみませんか。しかし、東京、熱海間は 100km を少し上回り、少し遠距離となりますが、この先、何を急いで仕事をするのということになりますと難点となるかもしれません。

何事も覚悟を決めて決断しましょう！！

(昭和 39 年卒)



## 猪狩先生さようなら

電気電子情報通信工学科 教授 白井 宏

本学科で長きにわたって教鞭をとられた猪狩武尚先生が、去る 2009 年 11 月 18 日にお亡くなりになりました。享年 78 歳でした。

猪狩先生は、70 歳で本学を定年退職された後は、ご自宅の千葉県我孫子市で奥様とお二人で余生を楽しまれていらしたのですが、若い時に患われた結核の影響か、呼吸器系の疾患を長く患われていました。昨夏にお会いしたときには、まだお元気な様子でしたが、だいぶ足が弱ってきたので、長く歩くのがつらいといわれながらも、一緒に後樂園校舎前の富坂を歩きました。

奥様から急遽入院されたのご連絡を頂き、まさかと耳を疑いました。集中治療室でお会いした先生は、息苦しそうでしたが、意識もあり、また会いに来ますからと別れたのが、最後となってしまいました。いま思えばもう少し話をさせていただきたかったと悔やまれます。

猪狩先生は、昭和 6 年 7 月 28 日に北海道にお生まれになり、昭和 28 年 3 月東京大学工学部を卒業して、昭和 30 年 3 月東京大学大学院数物系研究科電気工学専門課程修士課程を修了されました。その後直ちに中央大学に赴任され、実験助手、専任講師、助教授を経て昭和 52 年 4 月に中央大学教授になられ、平成 14 年に定年退職されて名誉教授になられるまで実に 45 年を越えて中央大学に奉職されました。

この長い間、電気工学の必修科目である「電気機器」の講義を中心として多くの講義を担当されました。電気機器工学の研究分野においては、発電機・電動機の運転特性の解析方法の開発に主に貢献されました。従来から行われていた電気機器の特性解析は、複雑で解析するのが大変であったものを、猪狩先生は、電気機器についての等価電気・磁気回路を構成して、その等価回路から特性を解析する方法を新しく提案され、



これにより回転機の等価回路を容易に作る事が出来て、運転特性解析が大幅に簡略化されました。

こうした等価回路を用いた解析手法の詳細は、著書「電気機械理論」にまとめられ、同じく著書の「電気機械学」とともに、理工学部の必修講義である電気機器工学の教科書として、広く使われ、版を重ねて発行部数は4万6千部を超えて、現在もまだ使われております。また技術者教育に関して、電気主任技術者の試験委員ならびにエネルギー管理士の研修修了試験委員として我が国の技術者育成に長年にわたって多大なる貢献をされてきました。

また先生は、学会活動も積極的であり、電気学会の電気機器関連の研究専門・技術委員会を中心に活動され、同学会の産業応用部門役員会委員や評議員などの要職を歴任されました。加えて電気機器に関する標準化・規格化にも尽力され国際電気標準会議の国内委員会の日本代表として同会議へ出席されるなど、国際標準化にも貢献されました。

以上のような電気機器応用技術の高度化と発展に対する学術的な貢献に対し、電気学会から、平成15年には猪狩先生には、

産業応用部門 産業応用特別賞学術賞が贈られました。

中央大学においては、平成元年11月から4年間兼務された理工学部長・中央大学理事のときには、新しい学問分野である情報処理教育や学内計算機ネットワークの導入に力を入れられ、当時まだ新しかったインターネットによる大学ホームページの公開をはじめ、学内の情報環境の整備に尽くされました。また理工学部を再編し、新しく情報工学科を新設するなど、中央大学の発展に大きく貢献されました。

こうした多大なる猪狩先生のご貢献に対して政府から、正五位瑞宝中綬章が追贈されました。

ここに謹んで謹んで猪狩先生のご冥福をお祈り申し上げます。





## 着任にあたって

助教 久保田 彰

同窓会会員の皆様、初めまして久保田彰と申します。2009年4月に電気電子情報通信工学科に助教として着任しました。本学科の教員の一員として皆様の後輩の育成に力を注ぎ、中大理工の発展に寄与できるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

本学科は、電気エネルギー、集積回路、電子素材や情報通信に至る広範な分野を対象としています。それらの基礎となる科目が充実しているだけでなく、実験や実習も多く準備されており、幅広い分野で先導的に活躍できる人材の輩出を目指しています。このような魅力的な学科に教員として研究・教育活動に携われることを幸せに感じるとともに大きな責任を感じています。

着任するまでは、海外も含め複数の任期付ポストを渡り歩きましたが、中央大学に着任し、ようやく大学の“正社員”となりました。主に研究だけをやればよかった立場から、研究だけでなく、教育や学科の運営を行わなければならない立場に変わりました。仕事量は以前の2倍をはるかに超えたように思えますが、自分の研究室を持つことに誇りを持ち、研究・教育指導にやりがいを感じています。

本学科は、素直な学生が多いという印象です。人の指示に従って、やるべきことを進めて

いく力はある程度備わっていると思います。しかし、自ら進んで勉学や研究に励み、自分の考えを主張することは比較的苦手なようです。座学だけの一方方向の教育だけでなく、人としての総合力を高めるため、中大理工では学生のコンピテンシー（強み）を教育するシステムに本格的に取り掛かり始めました。本学科でも、学科の特色を生かし、どのようなコンピテンシーを育てるべきかを再考し、議論を重ねているところです。

コンピテンシーを育てる工夫として、私の研究室では、ゼミでは司会を学生が担当することにし、人前で発言する機会を多くするようにしています。また、ゼミ以外に、学生と一対一の打合せも週に15分程度は取り入れ、学生との議論の時間を作っています。最大限の力を発揮して出した成果を他人から評価あるいは批判されることの連続によってコンピテンシーが育つと考えているからです。これはそれほど容易いことではないですが、継続したい研究室の文化です。

講義では、より一層の工夫が必要です。担当科目の一つ「信号処理」では、時間信号  $f(t)$  を  $\exp(j2\pi ft)$  という基本要素に分解する方法を使います。これがフーリエ解析という数学的道具であることはご承知の通りです。

このことがなぜ有益であるのかを印象に残るように次のような説明をしています。まず、 $\exp(j2\pi ft)$  という基本要素は、複素平面から垂直に時間軸をとってプロットしてみると、螺旋の形状になることがわかります。螺旋の単位時間当たりの回転数が周波数に対応します。信号の基本要素が螺旋状の信号であるというのは、人体の基本要素である DNA が螺旋形状であることと類似があることに気がつきます。偶然の一致でしょうか。次に特性が線形で時間変化しないシステムに、この螺旋状の信号を入力すると、出力も驚くべきことに同じ螺旋状の信号となります。変化するのは螺旋の径の大きさと位置だけで、螺旋の回転数は変化しません。回転数が変化しないということは、他の回転数の情報が紛れ込まないということを意味しており、個々の回転数の場合だけを考察すればよいこととなります。これは、回転数（周波数）によってシステムの特性を記述することができること（周波数解析）に繋がってきます。信号を基本要素に分けるという考えは、解決すべき問題を小さな問題に分けて解決する考えと同じです。大切なのは、個々の部分問題が互いに影響しないように問題を分けなければならないということです。そのようにしなければ、一つの部分問題を解決したときに、その解決方法が他の部分問題で悪い影響を及ぼすかもしれないからです。螺旋状の信号に分けるという考えも同じです。以上のような説明は、学生に基礎となる考え方を理解して

もらい、その結果、自ら進んで勉学に励むきっかけになるだろうと信じています。

本学科で基礎力の付いた人材が幅広い分野で活躍できることを望んでいます。本同窓会の菱沼会長は、一次遅れシステムを農学分野へ応用し、農学の博士号を取得されました。本質を理解すれば、他の分野にも有効に応用できること、そしてその重要性を昨年度の学科卒業式の祝辞で述べられました。見本となる先輩からの大切なメッセージでした。先輩方には、オープンキャンパスや白門祭の際には、後輩の成長を直に見ていただき、激励をしていただければ幸甚です。

略歴：

1974 年生。

1997 年、大分大学工学部電気電子工学科卒業。  
1999 年、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。

2002 年、同大大学院博士課程修了。同年、日本学術振興会特別研究員。

2003 年、米国カーネギーメロン大学訪問研究員。

2004 年、神奈川大学ハイテクリサーチセンター研究員。

2005 年、東京工業大学大学院総合理工学研究科助手。

2009 年より、中央大学理工学部助教。専門分野は、信号・画像処理、情報通信。最近のテーマは、自由視点テレビの基礎技術の開発。博士（工学）

## 中大理工学部電気同窓会の皆様へ

事務長 二澤 英治

平素より理工学部の教育研究活動にご理解並びにご支援を賜り誠に有難うございます。

このたび後樂園キャンパスでは、教育・研究環境をさらに充実するため、老朽化した現在の2号館を建て替える建築計画を進めることといたしました。

この計画に基づき、本年3月から現在あるテニスコート周辺及び7号館を解体し、その跡地に下図の様な新2号館を建設することになりました。この新棟には、現在の2号館にある都市環境学科、精密機械工学科及び生命科学科の研究室や実験室、その他に中央大学高校の施設などを設けることとなります。



建築面積	1,950.00 m <sup>2</sup>	延床面積	17,400.00 m <sup>2</sup>
階数	地上9階、地下1階	高さ	42.50m
構造	鉄骨造		

この新2号館の建築計画の実施に伴い、誠に遺憾ではありますが昭和56年に5号館・6号館が完成した際に「電気工学科同窓会」(当時の名称)の皆様よりご寄贈いただきました欂の木を伐採させていただきました。立派な並木となって学生教職員にも親しまれておりましたので、建築部分にかかってしまったことは大変残念に思います。しかし、伐採した欂の木は木材として製材した後に木製品に加工して、会員の皆様方のご厚志を顕彰させていただくために新棟1階エントランスロビーに常設することを検討しております。

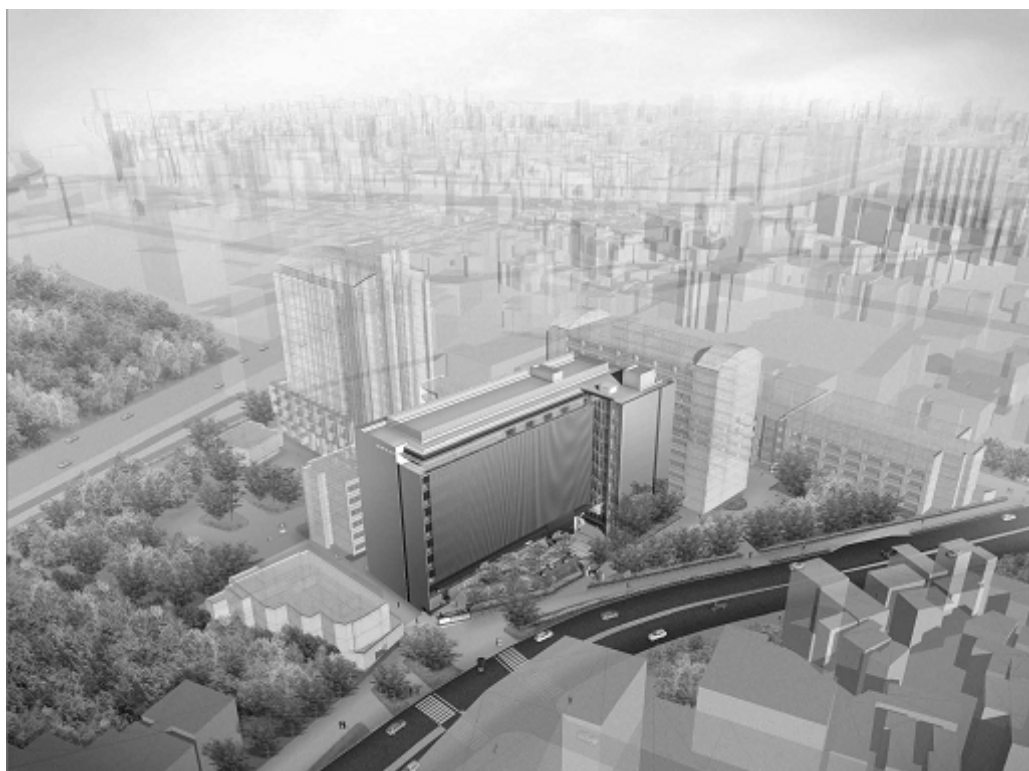
このエントランスロビーは、新棟内部と緑を多く配置した外構部とのインターフェイスとなる部分で、無機質なイメージを排除して自然の息吹を感じさせる新棟の顔となる空間となるよう考えており、後樂園キャンパスに通学する多くの学部生や大学院生が通行するため、ご寄贈いただいた欂の木を活かす最適な利用方と考えております。



新2号館1階エントランスロビーのイメージ図



この建築計画では、第1期工事として新2号館西側部分を先に完成させて2011年4月から生命科学科の研究室及び実験室の供用を開始し、次に第2期工事として同年9月までに竣工を迎え全ての施設が供用可能となります。そして最後に現在の2号館を解体して計画の完成となる予定で、最終的な後楽園キャンパスのイメージは以下の通りとなります。



このたびの新棟建設は、学部と大学院が一体となった大学の展開が期待され、本学理工学部と理工学研究科のプレゼンスを一層高めることとなりますので、なにとぞご理解賜り今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

# 世界で通用するビジネスパーソンになるために

平成2年卒 鳥巢 正義

当時いわゆるバブルと呼ばれる時代でした。文系就職を目指していた私は、学校推薦を得ず、就職活動をしました。幸い複数の内定があり、第一志望であった商社へ就職することが出来ました。

簡単な経歴を示しながら、今までの仕事について書いてみたいと思います。

## 1. 商社時代

当時イトマンへ就職した私は、最初の8年間は国内の鋼材、土木工事、建設機械の営業、そして最後の約2年間は鋼材貿易の営業をしました。残念ながら「イトマン事件」という経済事件により、1993年に住金物産に吸収合併されましたが、最初の約10年間は商社で働いたことは、その後の自分にとって大きなプラスとなりました。

思い出深い経験としては2つあり、一つは1995年1月に起きた阪神・淡路大震災後、半年間大阪へ一時転勤し、復興作業に関係する関連会社の持つ特許工法普及のため、毎日、六甲や三宮の工事現場へ赴き、作業着を着、飯場で食事をし、仕事を進めて行ったことです。社会的貢献にもなり、これ以上大変な仕事はまた経験していません。

もう一つは、1997年に、関連会社の建設機械を初めて海外へ販売することとなり、シンガポール及びタイにてデモンストレーションを行ったことです。まったく土地勘のない国に販売するため、まず日系の建設会社を調べ、FAXで現地法人の社長にアポイントメントを取っていき、どの建設会社にも協力して頂き、スタッフ及び下請会社にも参加を呼び掛けてもらい、

合計で120人を越える参加者を得ることが出来ました。その後、数台販売することが出来ましたが、残念ながら1997年夏以降のアジア通貨危機により、輸出はされなくなりました。

## 2. 日本エリクソンへ転職

イトマン入社時から10年間は一つの会社で一生懸命頑張ることとしておりましたが、11年目を迎えるに当たり、自分のしたいことが出来ているか考え、転職をすることにしました。2000年2月に携帯電話のインフラで世界No.1であるエリクソン（スウェーデン）の日本法人である日本エリクソン 営業統括本部のマネージャーとして勤務を始めました。

日本エリクソンの主なお客様は当時J-Phone（現在のソフトバンク・モバイル）でした。入社した直後にPDCの再契約交渉があり、早速中核メンバーとして参加することになりました。コア・ネットワークや基地局の設置に関わる工事費用やメンテナンス、諸条件を交渉する役目です。交渉は大変難航しましたが、本社や日本支社の仲間のお陰で何とか取りまとめることが出来ました。ほっとしたのもつかの間、2000年秋、KDDIがCDMA2000を導入するための入札を開始したのです。

当時モトローラがメインサプライヤーでしたが、エリクソンも米クアルコム（Qualcomm）のCDMAのインフラ部門を買収したこともあり、入札に参加することになりました。もともと違う部署へ所属していたのですが、対応出来る人材がKDDIの担当部署にいないということになり、急遽中核メンバーとして参加することになりました。本当は5週間の予定でしたが、たまたまパスポート

の期限が切れていましたので、渡米が一週間遅れ、4週間アメリカ、サンディエゴに一時勤務をすることになりました。サンディエゴでの勤務は、朝7時半の日本との定例会（7-8名の中核メンバーのみ）で始まり、夜は10時を越えるスケジュールでした。昼食のため、近くのフードコートと、夕食のケータリングだけが楽しみでした。

運よく週末は休めたので、サンディエゴのリゾート地であるラホヤでのんびりしたり、ダウンタウンへ遊びに行ったりリフレッシュしていました。日本の会社と大きく違ったことは、会社は私たちが多忙であっても、高いモチベーションをキープし続けるために、いろいろなバックアップをしてくれたことです。毎朝の定例会や、週一回の全体会議では多くの種類の飲み物やスナック、ケーキ等が置いてあり、リラックスした気分で会議に臨むことが出来ました。また途中、金曜日にはダウンタウンのイタリア料理店に50人以上で繰り出し、会社主催のパーティーを楽しみました。また私は参加しませんでした。私が渡米する前にキックオフ・ミーティングとして、クルージングもありました。4週間後、無事入札を終え、元の部署へ戻ることが出来ました。また2004年にも3週間、サンディエゴで働き、次のKDDIの入札にも参加しました。両方とも入札の結果は残念でしたが。

その後、J-Phoneの3G(W-CDMA)の入札に主メンバーとして加わり、徹夜続きの交渉が終わり、あとは署名だけとなった時、驚くべきことが起きました。ヨーロッパのボーダフォンがJ-Phoneを買収するというニュースです。ここからボーダフォンの交渉団と再交渉が行われ、署名までさらに数カ月かかりました。

その他にも多くの入札に参加出来たことは、今の仕事にも大変役立っています。

さらなる自己の成長を求め、2004年8月に退社することにしました。

### 3. 現在

日本エリクソン退社後、他2社を経て、現在勤務中である、SYNIVERSE TECHNOLOGIES INC.

(シニバース・テクノロジーズ)の日本法人設立メンバーとして誘いがあり、2006年2月に日本法人を設立致しました。当社は、2005年よりニューヨーク証券取引所(NYSE)に上場(CODE: SYN)しており、携帯電話サービスにおける国際ローミング・サービスや番号ポータビリティ・サービス等を携帯事業者とともに加入者へ提供しています。世界の90%を越える800社以上の携帯事業者に国際ローミングに関わるサービスを提供しており、弊社の日本における主顧客はKDDI、NTTドコモ及びソフトバンク・モバイルとなります。現在の私が担当する国は、日本だけでなく、グアム、サイパン、パラオ、ソロモン諸島、サモア、バヌアツといった太平洋諸島です。出張も毎月のようにあり、年に1回の本社(フロリダ)、年4回のアジア本社(香港)に加え、年に1回の太平洋諸国(今年はソロモン諸島)、年2-3回のグアム、そしてGSM協会主催のイベントスポンサーとして年2回ほど、アジアのどこかへ出張しております。

忙しすぎてモチベーションが下がりそうですが、アメリカの会社らしく、4半期ごとの会社業績のプレゼンはネットにて配信され、また派手な表彰式や、インセンティブ・プラン等、やはりモチベーションを上げるような様々なサポートが提供されています。今までの営業を主とした経験を生かし、また大学で学んだ電気工学のバックグラウンドもサービスを理解するのに役立っています。2008年度には優秀営業者の表彰も受けました。

日本法人の代表取締役として、経営、営業、販売後のフォローと全てに対応しており、毎日睡眠時間が足りない状況ですが、アメリカ本社及びヨーロッパやアジアの地域会社からのバックアップもあり、順調にビジネスは伸びています。弊社全世界の従業員約1,400人、そのうち唯一の日本人として世界に通用するビジネスマンになるべく、日夜奮闘しています。



2010年5月ソロモン諸島にて、右から2番目が本人、真ん中がソロモン諸島のデリック・シクア首相



本社のあるフロリダ タンパのレストランで。

## 技術と芸術

(昭和40年卒 米国テキサス在住) 西川 健二

今から40年前、1970年代の米国では、又世界中何処でも日本の生産技術は高く評価され日本人技術者は何処へ行っても大歓迎されたものです。日本技術の先人たちが苦労を重ねて作り上げた立派なその路の上を歩く事が出来た私達はとても恵まれていた世代である事を痛感しました。そうした太い路は海外へも通じていて世界中でその技術を高く評価されました。お陰さまで在職中、スペースシャトルの12ミッションにも搭載されたコンピューターの製造に携わったり、コンピューター・携帯電話・電子製品製造工場を米国やスコットランド、フィンランドに12工場造ったり、米国及び東南アジア生産事業の取締役を任じられたり今思えば大きな仕事に恵まれたものです。

理工系の知識と物の考え方でサラリーマンをしてきた私達にとってそれ以外の考え方をすることは冒険であると同時に興味深いことでもありました。国と言語は違っても人を知り人をマネージする事とか、人の言葉の裏を理解するとか、等式のない計算機で物の取引をしたり、はじめからゼロのところになにかを作りだしたり、世の中には方程式では計算できない事の方が多くて、等式で割り出せた私達のやりかたの方がむしろ極一部の例外だった事に気付きました。

そして私達理工系思考の正反対に位置するのが恐らくArt思考ではないかと私は思います。その意味で定年後米国の5つの水彩会のシグ

ネチャーメンバーになり Artist たちと付き合いをするようになってからは物の見方や考え方が違って来たのではないかと感じています。

2001年、私は定年退職をして趣味の水彩画と旅行に没頭していましたがその数年後友人から勧められて米国では権威ある Watercolor-USA (米国水彩会) の公募展に水彩画“マルセイユの駅”を出品しました。人生は奇跡の延長線で、見事公募展に入選しその上美術館買い上げと言う特別賞を頂き自動的に名誉会員に推挙されました。2005年には当会の理事を任命され、水彩画国際交換展の委員長として日米水彩画交換展のプロジェクトが発足されたわけです。日本では水彩連盟の重鎮と話し合いを重ねて4年、その夢が叶い昨年水彩連盟の米国展を開催する事が出来ました。そして今年2010年4月 Watercolor-USA の日本展が東京の国立新美術館で開催されるはこびと成ったわけです。

五千年も前、中東のメソポタミアで生まれた人類の文明文化芸術はインドを経て時間をかけて中国に渡りその厚みを重ね朝鮮半島を経てそれら全てが最終地日本に到来しました。日本の肥えた土壌の上で再び長い時間をかけて浄化され磨きを掛けられ外界から侵されること無くかつて何処にもない芸術文化の花が開いたと言われています。それが私達のDNAに潜んでいる為現代の日本人には免疫となって日常的に意識することは有りませんが。そうした日本人の感性の豊かさは単に渋さとか侘び

とか寂びとかに留まらず建築、美術、アパレル、自動車産業、電子製品、重工業から食品に至るまで世界に認められる輝きを放つに至りました。

また反対に中東から東欧を経て西欧に渡った西回りの文明は長い間ヨーロッパで磨かれ花開きその種子が二百年前に米国に渡り荒削りに手を加えられてアメリカ文化芸術の今日に至ったのだらうと私は思います。

いずれにしても人類の水源地から湧き出た文明文化芸術のせせらぎは東回りで日本に到達して現在に至り、西回りの清流はアメリカに流入して現在に至っています。そうした経緯を考えると日本水彩連盟と私の所属する米国水彩会（Watercolor-USA）がどうして水彩画交換展を開いたかの一端を知る事が出来ると思います。

2010年4月、14名のアメリカの水彩画家達を同伴して日米水彩画交換展のために訪日しました。六本木の国立新美術館での日米展とその開会式に参列し大歓迎され、大勢の日本を代表する水彩画家と話し合う機会を持ち、私なりに日米水彩画の相違点共通点を解析することは可能でしょうがあまり信頼性がありませんので、14名のアメリカ人水彩画家達が日本で何に興味を示したかを説明する方が意味のある事だと思えます。そして青い目で見た日本の面白さそのものがアメリカンアーティストの美意識美感の中に無かった新しい物差しとなった事でしょう。

田畑や茶畑の規則正しいうねり、長い階段の並び、寺社の屋根の曲線、塵の無い駅や街中、玄関先の小さな生垣、マンホールのふたに彫られた絵柄、妊婦や障害者を標された優先席、突き出しに出て来る種々様々な料理と器、次々に供される割烹料理、携帯電話の飾り、日本旅館の庭とたたずまい、靴を脱ぐ生活様式、日本画・水彩画に見られる不透明なモノトーン、だれでも使っている身の回りの小物、日本人の些細な物腰、そのほかいつも見ている数限りない風景がアメリカンアーティストには大変興味のそそられる事だったようです。

毎日当たり前に行っている事とか何時も使っている品々がこんなにも異なった価値観・美意識のもとに存在している事、その国や民族それぞれの需要性と美観に基づいて各々の文化・芸術を作り出している事実を改めて認識しました。日本独特の文化・美意識と米国にだからこそある価値観と美観を融合させて絵画を創作出来ればより新しい独特な美術が生まれて来る事でしょう。今回の日米交換展を新たな出発点として老躯を引っさげて新絵画に挑戦したいと思っています。公募展や審査員のためではなく、また画商のためでもなく自分に満足できる絵を描き続けて行きます。

どこかの展覧会で御会いする事を楽しみにしています。

日の丸よ高く揚がれ、星条旗よ永遠なれ。

2010年5月 西川健二





Watercolor USA の訪日したアーティスト達



エレキ40同期メンバー 国立新美術館にて



筆者の最新作 ”パリの丘”

## 同窓会新会員のご紹介

本年より新会員の入会勧誘方法を、卒業・修了の予定者各人宛に「勧誘の文書」と「払込取扱票」を記名済の封筒に入れて各研究室を訪問して学生達に直接手渡すことに変更しました。

入会の手続きを完了された方々を以下にご紹介致します。

(敬称略、2010年6月20日現在)

### ● 学部卒業生

小野 孝 (木下研)、片岡 満 (國井研)、小林祐樹 (築山研)、若木亮馬 (山村研)

### ● 大学院修了生

井村 健 (庄司研)、大藤雅之 (築山研)、小山裕大 (山村研)、鈴木太郎 (國井研)、  
田中孝浩 (二本研)、田村直也 (山村研)、塚田智史 (稲葉研)、額賀友理 (二本研)

### ● 既卒入会者

木嶋雅史 (平成 16 年卒)

## 会誌発行事業費の集計報告（その9）

会誌46号発行以降に皆様から寄せられました「会誌発行事業費」について、集計結果とご協力頂きました方々のご芳名を報告いたします。

尚、複数回御協力戴いた方々もおりますが初回のみのご芳名掲載と致します。

### ● 会誌発行事業費集計報告（2010年4月8日現在）

申込総口数：461.8口

申込総人数：321人

申込金額計：2,309,000円

収入金額計：2,288,800円（振込手数料20,200円差し引き後）

### ● 会誌発行事業費納付者ご芳名（50音順）

伊東 眞一 殿      久保 直 殿      小林 進 殿      坂林 和重 殿  
林 直司 殿      藤井 隆 殿      藤本 守孝 殿      村中 克年 殿

### ● 会誌発行事業費・終身会費の納付先口座のご案内

引き続き、昭和年代に学部を卒業された方は

会誌発行事業費：1口 5,000円 1口以上何口でも、  
平成年代に学部を卒業された方は「終身会費（1万円）」の受付を行っておりますので、  
同窓で未納或いは未入会の方がおられましたらご協力お願いの声をかけて頂き、  
下記の口座をご紹介下さるようお願いいたします。

また、既に一度「会誌発行事業費」をご納付された方も再度のご協力を頂ければ幸です。

#### 【 郵便振替口座 】

口座番号：00130-7-752276

加入者名：中央大学理工学部電気・電子工学科同窓会

通 信 欄：住所・氏名・学部卒業年および「会誌発行事業費」か「終身会費」  
のいずれかの納付であるかを必ずご記入下さい。

# 会 計 報 告

## 平成20年度会計報告

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

本会計報告は、平成21年11月7日に開催された平成21年度総会にて承認されました。

### 収入の部

前年度よりの繰越金	2,522,876円
平成20年度総会会費	378,000円
預貯金利息	2,143円
雑収入	1,000円
終身会費	70,000円
寄付金	23,000円
会誌発行事業費寄附	50,000円
協賛金(修論発表会等)	60,000円
(アイコンテクノ(株)様、菱沼技術士事務所様)	
計	3,107,019円

### 支出の部

平成20年度総会費	341,793円
通信及び印刷費	367,140円
事務・運営費	183,052円
名簿関係事務費	30,000円
慶弔費	0円
修論発表会優秀賞	58,200円
高窪先生お子様奨励会寄附	30,000円
次年度繰越金	2,096,834円
計	3,107,019円

上記、平成20年度会計報告の収支計算は、適正に表示しているものと認める。

平成21年6月3日

築山修治 ㊞

## 平成21年度会計報告

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

本会計報告は、平成22年11月20日開催予定の平成21年度総会で承認を諮る予定です。

### 収入の部

前年度よりの繰越金	2,096,834円
平成21年度総会会費	364,000円
預貯金利息	675円
終身会費	110,000円
寄付金	12,100円
会誌発行事業費寄附	55,000円
協賛金(修論発表会等)	120,000円
(アイコンテクノ(株)様、(株)ウッズ様、シチズン 千葉精密(株)様、菱沼技術士事務所様)	
計	2,758,609円

### 支出の部

平成21年度総会費	314,330円
通信及び印刷費	332,500円
事務・運営費	51,433円
名簿関係事務費	30,000円
慶弔費	0円
修論同窓会賞副賞	87,300円
次年度繰越金	1,943,046円
計	2,758,609円

上記、平成21年度会計報告の収支計算は、適正に表示しているものと認める。

平成22年5月25日

築山修治 ㊞



## 同窓会財務委員会より

財務委員長：昭和 57 年卒 辻 正 吾

財務委員会は中大電気同窓会が継続発展するための収支改善施策を企画する委員会ですが、同窓会の活動を通じて願うことは、卒業生が充実した人生であり、OBの社会におけるネットワーク資産を卒業生にも役立ててもらい、成功して欲しいということです。学生やOBのお役に立ち、ビジネスやプライベートが充実したものとなるよう貢献し、会員であってよかったと感じられる活動を心がけて参ります。

### －同窓会の理想－

同窓会の意義は入会することにより、本人が積極的に機会を利用し、学生、OB、先生方の知識や経験がお互いを補間しながら相談できるネットワークを築いていくことです。同期生との旧交を深めたり、世代を越えた歴史と伝統を語ることはもちろん、就職や共同研究や技術相談、ビジネス相談などの交流が活発に行われ、結果として、学生やOBのビジネスチャンスやネットワークが広がり相乗効果が期待できます。同窓会はビジネスにおける利害関係とは異なり、家族に似ています。たとえばOBが卒業生の就職やビジネスの役にたち、成功してくれればお互いに中大の誇りと存在意義を実感するのです。

### －同窓会の活動－

大学とOB、あるいはOB間の接点、繋がりきっかけを提供するため、懇親会をはじめ、ホームページと同窓会誌による大学近況報告などの活動を行っています。また刷新したホームページには随時、会員の皆様の声をお寄せいただけるよう連絡窓口と同期生、研究室の掲示板やフォーラムを開設しています。

### －活動への参加－

同窓会は会員、幹事会、常任幹事会で組織しています。活動の企画運営は会長をはじめ常任幹事会が行っています。理想的には幹事会に各卒業年次の代表が就任し、企画や要望、提案を常任幹事会に上げて具現化していかなければならないのですが、現状では機能していません。多くのOBが活動に参加することにより同窓会を充実した役立つ組織にしていかななくてはなりません。参加することによりネットワークがさらに広がり、多くの無形資産が必ず生まれます。まず、同期生を誘って今年の懇親会へ参加することからはじめてください。またホームページや会誌が卒業生のコミュニティ、フォーラムとして機能し、交流や活動のきっかけとなるよう皆様の声をお寄せください。かけがえのない同窓会の資産を維持発展させるためにご理解とご協力をお願いいたします。





## ホームページ倫理委員会よりご案内

昭和 42 年卒

ホームページ倫理委員会 **秋田 隆史**

### ーホームページ、コミュニティのID、パスワード追加ー

電気電子情報通信工学科の学生、OBに親しみのあるIDを追加いたしました。

### ー登録携帯サイト追加のご案内ー

同窓会総会・懇親会の参加申込み、住所変更、アンケートを登録できる携帯サイトを開設しました。

**<http://www.elect-chuo.com/keitai/>**

ID, パスワードはホームページ <http://www.elect-chuo.com> のコミュニティ(上記)と同じです。

※ホームページ「事務局への連絡」「住所変更」でも受け付けています。

### ー同窓会へのご意見、会誌への投稿のお願いー

会誌への投稿、近況報告、ご意見等はホームページ <http://www.elect-chuo.com> の「事務局への連絡」からお願いします。会誌掲載可否も忘れずに追記してください。ふるって皆様の声をお寄せください。

## 会誌を Web で 閲 覧 アンケートにご協力を！

常任幹事会では、同窓会ホームページの充実化の一環として会誌を pdf ファイルで掲載するべく検討しております。実施はアンケート結果を検討し決定する予定です。

下記目的に皆様のご理解とご協力を賜りたく、ご検討のうえアンケートに回答くださいますようお願い申し上げます。

### 【 目 的 】

1. 同窓会運営経費の削減と合理化
2. ホームページ充実化に伴う会誌バックナンバーの閲覧

### 【 方 法 】

1. 趣旨にご賛同いただいた会員にはホームページ（以下、Web）での会誌閲覧用 I D と P W をお知らせします。年 1 回の会誌の郵送は行いませんが、同窓会 Web より会誌とバックナンバーをご覧になれます。同窓会からの連絡は総会・懇親会ご案内ハガキのみとなります。
2. 会誌郵送継続をご希望の会員には、従来通り会誌を郵送します。
3. 今回ご案内のアンケートにご回答が無い会員は、Web による会誌閲覧にご賛同されたものとして対応させていただきます。

### 【 アンケート 】

1. 総会出欠の返信ハガキの最下段にご記入の上、50円切手を貼ってご投函下さい。
2. Web で閲覧するので会誌の送付不要の方は、**不要** に○印を付けて下さい。
3. 従来通り会誌の送付が必要な方は、**要** に○印を付けて下さい。
4. アンケートは携帯サイト <http://www.elect-chuo.com/keitai/> でもご回答いただけます。

ログインは、 I D (名前) :

パスワード :

(詳細は本誌「ホームページ倫理委員会よりご案内」参照)

5. アンケートはホームページ <http://www.elect-chuo.com> 「事務局への連絡」にアンケートご回答の旨、ご面倒でも文面にて受け賜ります。

常任幹事会では皆様からの回答結果を集計し、経費削減効果がどの程度なのか検討して実施するか否か決定することになります。実施する場合、重要事項のため総会に実施策を諮り決議することも検討しております。実施の場合には改めて会誌等を通じて皆様にお知らせ致します。

《 事務局 》

## 2009年度修士論文発表会「同窓会賞」

2010年2月27日(土)に開催された「2009年度修士論文発表会」において、同窓会会員により構成された審査員(同窓会員の自発参画;本年は12名)が厳正なる審査を行った結果、下記の方々に「同窓会賞」を贈呈することに決定致しました。協賛社賞は優秀賞全9人の中から協賛各社の代表者により選定されました。

表彰並びに賞の贈呈は、3月24日(水)に開催された修了式・卒業式の席上にて行われました。

### ◀ 優秀賞 ▶

**小山 裕大さん 会員 (山村研)**

テーマ:可変利得ニュートンホモトピー法を用いた MOS トランジスタ回路の  
直流動作点解析

**小島 由大さん 会員 (今井研)**

テーマ:生体認証におけるウルフ攻撃に対して安全な照合方式に関する研究

**戸野倉 充さん 会員 (山村研)**

テーマ:SPICE を用いた非線形回路の混合方程式及び状態方程式の導出

**浅川 升平さん 会員 (築山研)**

テーマ:小型液晶ディスプレイ用駆動回路の自動配置配線に関する研究

**田中 孝浩さん (二本研)**

テーマ: Ni, NiFe エピタキシャル薄膜の作製と構造および磁気特性解析

### ◀ アイコンテクノ賞 ▶ (URL: <http://www.aikon.co.jp/> )

**大藤 雅之さん 会員 (築山研)**

テーマ:MOSFET の弱反転領域を利用した温度センサ回路の研究

### ◀ シチズン千葉精密賞 ▶ (URL: <http://www.chibaprecision.com/> )

**鈴木 太郎さん (國井研)**

テーマ:野外環境下における Visual Odometry による運動推定補完を用いた  
Landmark 追従計測に関する研究

### ◀ ウッズ賞 ▶ (URL: <http://www.woods-corp.co.jp/> )

**井村 健さん (庄司研)**

テーマ:常温接合を用いた高機能レーザデバイスの開発

### ◀ 菱沼技術士事務所賞 ▶ (URL: <http://www.e-hishi.com> )

**額賀 友理さん 会員 (二本研)**

テーマ: エピタキシャル Co および SmCo5 薄膜の作製と構造および磁気特性解析

## 同窓会賞受賞者のコメント

### 小山 裕大

私がこの研究を始めたのは修士課程1年の中旬です。学部生時代はバイポーラトランジスタ回路に関する研究を行っていたため、当時はMOSトランジスタ回路に関する知識が乏しい状態からのスタートでした。

最初はわからないことが多く、戸惑うことばかりで、このまま研究を続けていけるのかが不安でした。しかし、そのような時でも私が研究を続けてこられたのは周りの人たちのおかげです。指導教授である山村先生には多くのアドバイスをしていただけましたし、先輩や同級生にも多くのアドバイスをしてもらえました。

私は研究室の中でも特別成績がよかったわけではありません。わからないことがあると一人で考え込んでしまい、中々、先に進むことができないということがありました。そのような時に、他の人たちに聞いてもらうことにより、自分が思いつけなかったことを指導してもらえ、少しずつ研究を進めることができました。

この経験を通じて私が思うことは一人で研究はできないということです。一人で考えるにもある程度の限界があると思います。わからないのであれば、何がわからないのかを明確にし、指導教授や先輩、同級生に話すことが大切だと実感しました。この経験は社会人になった現在も活かすことができています。

最後になりましたが、このような賞をいただけたのも山村先生をはじめ、先輩や同級生、後輩のおかげです。多くの方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。

今井研究室 2009 年度卒業 OB

### 小島 由大

(こじま よしひろ)

私が大切にしていることは、「相手の立場になって考える」ことです。

私は学生時代、生体認証の安全性をテーマに研究を行っていました。

このテーマは情報系のテーマですので、電気電子情報通信工学の分野からは少しはずれていると私は考えていました。

修士研究の集大成として、研究してきた多くの成果を発表したかったのですが、聴く立場になって考えたとき、難しく理解しづらい発表よりも簡単でわかりやすい発表の方が聴いていて楽しいのではないかと思いました。

そのため、極力専門用語を用いず、背景を丁寧に説明し、研究結果は図やアニメーションを用いて直感的にわかるような発表を心がけました。

それが評価され、同窓会賞を受賞できたのではないかと考えています。

どんな場面においても、相手の立場になって考えることで自分がどんな行動をすれば良いか見えてくると思います。

発表をするときも論文を書くときもTAをしているときも相手がいるはずで。

後輩の皆様も「相手の立場になって考える」ことを実践してみたいはいかがでしょうか。

## 戸野 倉 充

この度は同窓会賞という名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。

今回の受賞は私一人の力では到底なし得ることのできないもので、多大なるご指導を賜りました山村清隆教授に心から感謝の意を示します。そして研究を行う上で様々な助言や協力を頂きました山村研究室の方々に深く感謝致します。

山村研究室で過ごした3年間は非常に充実したものであり、本当にあつという間に過ぎ去ってしまったという感じです。これもひとえに素晴らしい先輩、後輩、そして一緒にいろいろバカなことをやった同期のおかげだと思います。研究に関しては、三年間でいくつかの修羅場がありました。それを乗り越えるたびに自身の成長を実感する事ができ、非常に有意義な経験をすることができました。

最後に、山村研究室で学んだことを糧に、一日も早く一人前の技術者となれるよう頑張りたいと思います。

## 田中 孝 浩

この度は、中央大学電気電子情報通信工学科同窓会賞<優秀賞>をいただき、心から感謝しています。また、お世話になりました同窓会の皆様、そして、大学院において熱心なご指導を賜りました、二本教授、大竹先輩に心より御礼申し上げます。二本研究室では精一杯研究に打ち込める環境を提供して頂き、数多くの学会発表を経験することができました。

最も印象深いのは、アメリカで行われた国際学会に参加した時のことです。私にとって初めての英語口頭発表の機会でした。私は英語が喋れるわけではありませんでしたが、先生と先輩のご協力のもと発表原稿を作成し、毎日必死に

なって練習をしました。そして、迎えた本番では、無事に発表を終えることができ、その時は大きな達成感がありました。このような貴重な経験は、自分の時間を自分のために使える学生の時だからこそ出来たものだと思います。現在は社会人となりましたが、学生の時のような食欲さを忘れずに今後も頑張っていきたいと思えます。

## 大藤 雅之

学生生活から得たこと

私が学生生活で得たことは人との関わり合い、人に物事を説明することがとても大切なことだということを得ました。

研究をしていてどうしてこのような結果になるのか、どのようにすれば問題を解決できるのか自分で考えて分からないときは周りの人に相談し解決する。

実験のTAをしているときに実験の進め方が分からなそうにしている人には分かりやすく順序だてて説明する。

このように周りの人と話し合い、助け合うことにより、今まで自分では気がつくことのなかった知識、視野が広がりより多くのことを経験することができました。

実際に社会に出て仕事をしてみると、自分の行ったことを説明する機会、分からないことがあれば周りの人に聞き仕事を進めていくことが今までよりも多く、学生生活で得られたことがとても役に立っています。これからも人との関わり合いを大切にさまざまな経験をし、自分自身が成長できるようにがんばっていきたいです。

### 鈴木 太郎

この度は同窓会賞（シチズン千葉精密賞）を頂き非常に嬉しく感じております。

学部 4 年時から配属された國井研究室での 3 年間の研究生活は密度の濃い毎日で、多くのことを経験し、学び非常に有益な時間でありました。

國井先生のご指導の下、日々研究室のメンバーと楽しく（つらい事も多々ありましたが）研究活動を行うことができました。

自分なりに精一杯研究を行い、最後の総まとめの修士論文発表会でこのような賞を頂いたことに達成感を感じております。

これからは研究生活で培った力を糧に、少しでも社会貢献できるよう努力していきたいと考えています。

ありがとうございました。

### 井村 健

この度はウッズ賞という栄えある賞を頂きまして大変嬉しく思います。頑張っ研究を行ってきた成果を認めて頂いたことはとても光栄なことですし、なかなか結果も出なかった実験テーマだったので尚更です。「やればできるんだ」という自信にもつながりました。

現在、私は社会人一年目として日々新しいこととの出会いに苦勞しつつも、それを乗り越えていける喜びを感じています。問題から課題を導きだし、それをどのように解決していくか、といった問題解決方法の基礎的な考え方は大学時代の研究で培うことが出来ました。この考え方は今でも変わりませんし、問題を解決していく上で必ず必要になる能力だと思えます。

まだまだ、社会人としてわからないことが多く、毎日学ぶことばかりですが、いつか大きなプロジェクトに携わり、社会に認められるような仕事を成し遂げたいと思えます。

### 2010 年度 電気電子情報通信工学専攻 修士課程修了 額賀 友理

平成 22 年度卒業生の額賀友理と申します。修士論文発表会において、私の修士論文を菱沼技術士事務所賞に選出していただき、大変うれしく思っています。学生時代、私は『超高真空分子線エピタキシー法を用いた高 Ku エピタキシャル磁性薄膜の作製および結晶構造・特性評価』といったテーマで研究に取り組みました。

情報記録技術は、高度情報社会を支えるコア技術の一つです。中でも、磁気記録方式によるハードディスク装置（HDD）は大容量・高速・高信頼といった条件を満たすストレージ・デバイスとして期待されています。HDD の記録密度を増大させるためには、磁性体から構成される記録ビットの寸法を小さくする必要があり、それに伴い磁化が熱的に不安定になってしまう熱揺らぎという物理現象が問題となってきています。

この問題を解決するためには、記録ビットを構成する磁性薄膜として、大きな一軸異方性エネルギーを持つ材料を用いることが必要です。大きな一軸異方性エネルギーをもつ代表的な磁性材料として、Co や SmCo<sub>5</sub> 合金が挙げられ、次世代記録媒体用材料として期待されています。私は、この Co および SmCo<sub>5</sub> 合金を用いたエピタキシャル磁性薄膜作製技術の開発と、形成したエピタキシャル薄膜の構造および物性解明を行いました。

研究に取り組む過程で、二本正昭指導教授をはじめ、二本研究室の皆さまから知識や技術だけでなく、多くのことを学びました。物事に取り組む姿勢やチームワークの難しさ、努力から得られる達成感を知ることができました。今後は、社内外を問わず信頼される技術者になるために、先輩方から謙虚に学び、精一杯努力していきたいと思えます。



## 会員からのお便り

(平成21年度返信葉書の近況・コメント欄からの転載、都道府県は現住所)

今年もまた卒業生の皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

それにしても、1月に高窪先生にふりかかった痛ましい事件には、言いやのない悲しみを覚えます。このような非条理な出来事が二度と起きないよう祈ります。退職後、高窪先生とは数回、また奥様ともお目にかかる機会がありましたが、あの柔和な先生に、再びお逢いできないのは残念の極みです。残されたご家族の方々に心から哀悼の意を表します。

(元教員 東京都 深井 昌)

相変わらずウォーキング、ゴルフを楽しみ、元気に過ごしています。当日は町会の役員会と重複しますので欠席します。盛大な同窓会となることを祈ります。

(昭和28年卒 神奈川県 鈴木克郎)

80歳の體から元気が湯気陽炎の如く、ユラユラと出ているので吃驚！慌てながら(周章狼狽)急いで元氣溜まりを探り覗くと、元氣・血氣・精氣等々在庫豊富だったので安堵しました。出ていたのは、オーバーフローの分でした。

(昭和28年卒 埼玉県 竹中四朗)

体調不良にて歩行困難、会員の皆様によろしく・・・

(昭和28年卒 東京都 田中平八)

昭和29年3月卒業以来、受電設備、制御機器の製作販売を50余年元気で継続してまいりました。毎回同窓会会誌の御送付をいただき厚く御礼申し上げます。

(昭和29年卒 山形県 清野 剛)

同窓会誌「会員からのお便り」を何度か読みながら、皆さん息災にてお過ごしのことと安堵しています。学科紹介からは、学問の広がりや高度化を実感、使われている言葉の概念の理解が追いつかなくなりました。喜寿を迎えて、徐々に現場からの距離を感じずようになりました。今井先生の報告の中に「情操教育」と「問題解決能力の育成」に力を入れてゆく方針が強調されていました。このことは大学教育のみならず、社会全体で努力すべきことであろうかと痛感しています。新しい執行部とその方針のもと、同窓会の意義がますます深まることを祈念いたします。(2009.10.5)

(昭和31年卒 東京都 遠藤正雄)

地元自治会の仕事や生麦事件碑顕彰会・生麦蛇も蚊も保存会の行事などを行っています。数年前からは、踊りの稽古を続けています。後期高齢者にはなりましたが、身体を使って健康維持をはかっています。

(昭和32年卒 神奈川県 青木義雄)

新内閣官房長官は我が選挙区で選出、会社もバックアップ、そして電気工学科卒業です。私とご縁が有る様です。会誌発行迄、未だ改造は無い筈。大いに名声を轟かせて戴き度い。

(昭和32年卒 大阪府 内田 信)

今月からやっと土曜日が休日となりました。12月より新しいプロジェクトのため又々週休2日は守れそうにありません。諸兄の皆様、くれぐれも御自愛の程・・・

(昭和34年卒 神奈川県 佐々木 裕)

幹事様お世話様です。次回には出席したいと思えます。(昭和 34 年卒 埼玉県 関 光夫)

念願の水彩画個展(平成 21 年 9 月)を有楽町のギャラリーで行うことが出来ました。多くの方に来場頂き素敵なそして懐かしい出会いもありました。心の感動が表現出来る限り絵筆を持ち続けたいと思っています。

来年(平成 22 年 9 月)も個展を開く予定をしています。

(昭和 34 年卒 東京都 塚原達雄)

同窓会の新役員も決まり、新しくスタートされたこと喜ばしく思えます。同窓会の益々の発展をお祈りします。私はすっかり郷里に解けこみ体調と相談しながら勉学に、運動に、ボランティアに励んでいます。

(昭和 35 年卒 広島県 重政弘康)

今年はと思っていましたが又々欠席で申し訳ありませんが、白門 35 会には行って来ました。理工学部卒は大変少ないのが残念です。私は今、様々なアンチエイジングに挑戦していますが、その中でも若さを保つのに一番は若い女性に御付き合いをお願いすることです。金はかかりませんが心身共に若返ります。60 才以上の同窓生諸氏にお勧めです。

(昭和 35 年卒 福岡県 新開盛治)

絵描き仲間よりアリナミン EX プラスが身体に効くと聞いて、私も毎日朝食後 3 粒呑むことにしている。お陰で「足裏の痛み」「坐骨神経痛」「肩の痛み」「眼の疲労」がとれ体調が極めて良くなって来ました。いまは絵描きと陶芸に集中しています。

ゴルフも益々実力アップです。70 才代超の皆さん、そして同窓会お疲れの皆さんに是非お勧めです。試して下さい。

(昭和 35 年卒 埼玉県 田伏良雄)

2008 年は幕末の才女天璋院篤姫ゆかりの世界に誘われて素敵に薩摩を散策したが、2009 年は大河ドラマ「天地人」の上杉の歴史・名所・旧跡・温泉を求めて、山形県米沢を度々訪れた。米沢は私が米沢工業高校で過ごしたこともあって、懐かしい学校も上杉神社の隣にあった。(現在移転)

日頃は、ゴルフ・水泳教室・料理教室・旅行・健康中心に楽しんでいます。

(昭和 35 年卒 茨城県 村井康男)

当日は地元の行事があり欠席します。古希を迎え、囲碁三昧の毎日で元気に過ごしております。(昭和 37 年卒 千葉県 米倉孝栄)

- ・毎日妻の介護に明暮しています。
- ・私自身は大変元気です。

介護施設を短期入所(10 日前後)で利用していますが 3 ヶ月先の抽選に、今回 11 月上旬は「ハズレ」てしまい残念ながら欠席させていただきます。(昭和 38 年卒 東京都 五本 武)

47 年間、真面目?に働き、やっと自由の身になり、これからは大いに遊ぼうと思っています。まずは 70 才までにハーレーで日本一周に挑戦しています。残された時間 8 ヶ月、頑張ります。

(昭和 38 年卒 千葉県 木本晶久)

卒業後、満 45 年を経過し、人生の最終コーナーに差し掛かる今日この頃、地球環境の変化、ボーダーレス化した自分達の生活など改めて新しい対応が求められていると感じています。

健康に感謝するとともに電気同窓会の益々の発展を祈念しています。

(昭和 39 年卒 埼玉県 齊藤榮喜)

本年1月より個人事業として「DEAR CULTURE」を設立しました。事業内容は主に中小企業の営業とマーケティングコンサルとカルチャースクール（書道・ピアノ）の運営等です。60代後半ですが、まだまだ元気で現役を続けたいと思います。

（昭和40年卒 奈良県 岡田 章）

45年卒の保坂さん、私は大類先生に1回の授業で2度起された不名誉な記録を持っています。大変なつかしい思い出です。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

小林健一先生、おなつかしいです。40数年前と変わらぬ温厚な笑顔、無理もなさらず、うまい空気を吸ってお元気で過ごして下さい。

（昭和40年卒 神奈川県 嶋原眞澄）

2年前からスイミングスクール会員となり週2～3回通っています。今年はスクール対抗マスターズ水泳大会に出場し、個人自由形とメドレーリレーにエントリーしました。打上げパーティーも同年代のリレーメンバー同士で盛り上がり来年の出場も約束しました。

（昭和40年卒 埼玉県 門原健男）

同窓会メンバー各位のご健康を祈っています。今回は仕事に追われている関係で欠席させていただきます。

（昭和41年卒 東京都 青山宣弘）

元気に年間300Km ジョギングを中心に健康第一の生活リズムの維持に努めています。

（昭和41年卒 東京都 田口昭夫）

同窓会及び開始が充実して来た感じが致します。新会長・役員の皆様に感謝申し上げます。来年は中大創立125周年を向かえ、箱根駅伝・東都野球・剣道・柔道・レスリング・法曹会・会

計会等々の伝統の復活、活躍を楽しみにしています。私、最近では3年前の交通事故で足、腰痛でゴルフはダメ、囲碁、カラオケ、高校野球観戦を楽しんでいます。先日（9/20）は同期の竹村英雄氏と、映画、クリント・イーストウッド主演・監督の「グラン・トリノ」、「マディソン郡の橋」を高田馬場・早稲田松竹館で観ました。人生の生き方を学びました。自分は人の幸の為に何が出来るか？テーマです。

（昭和41年卒 千葉県 富田紘志）

43年間の榊中電工とその子会社勤務を卒業しましたので、今春、広島工業大学専門学校電気工学科に入学しました。企業勤務から講師の道に入り47年ぶりの学生生活です。洲にコマ（90分授業）の講座です。健康に留意して若者の活力をもらいながら、卒業出来るまで1年でも長く頑張ります。役員、感じの皆様今後ともよろしくお願いします。

（昭和41年卒 広島県 橋本正樹）

同窓会々誌を母校に関する貴重な情報源として読ませて頂いています。会誌から母校の発展ぶりが伺われ、たのもしく思っています。私が学生時代にご指導を受けた先生の記事が掲載されるとなつかしく当時を思い出しています。母校の今後ますますのご発展をお祈りいたします。

私は、地域に係わる若干の仕事（民生・児童委員等）に携わりながら、海外旅行、登山、謡曲を楽しんでいます。

（昭和41年卒 新潟県 長谷川禎治）

仕事は社員の技術教育を担当しています。趣味の男声コーラスグループ（ハモラズ）で老人ホーム慰問コンサートを今年は5回開催しました。所属する市川男声合唱団で男声合唱アカペラを楽しんでいます。

（昭和42年卒 千葉県 秋田隆史）

同窓会役員、会誌発行にかかわる皆様、本当に御苦勞様です。毎号楽しみに読んでいます。特に「会員からのお便り」は、皆様の現役時代が思い出されて一番楽しみです。同窓会会員の皆様の健康をお祈りします。

(昭和 42 年卒 埼玉県 神沼武臣)

今回は会社の研修会と重なり残念ながら欠席です。

昭和 35 年卒業で、元日本エンジニアリング会長であった金子和夫さんと一緒に半導体のエンジニアリング会社（アイコンテクノ株）をやらせていただいています。昨年（H21 年）のリーマン金融ショックで、経営環境は大変厳しいですが、頑張っています。

人間ドックでチェックしてもらったら大腸にポリープがみつきり、これから除去するところです。早めにみつかって、大変に幸と思っています。同窓会役員の方々ありがとうございます。同窓会の維持、発展を祈念しています。

(昭和 42 年卒 東京都 中田靖夫)

連絡遅くなりすみません。当日、所用のため、欠席させていただきたく御連絡申し上げます。当方目下、囑託勤務中ですが、来年 1 月から非常勤となります。業務は、海洋計測器の開発、設計に従事しています。

会長様他関係各位によりしくお伝え下さいますよう御願ひ申し上げます。

(昭和 42 年卒 神奈川県 林 正博)

株東芝と東芝エレベータ株にて 41 年間余りエレベータ事業に従事して来ましたが、本年 6 月をもって退職し、浜松市にある株テクノエレベータに入社しました。引き続きエレベータの技術面に関与することになりました。

(昭和 42 年卒 神奈川県 水口宏昭)

2008 年 12 月最後の勤務先を退社しました。約 4 年間の単身生活でした。今は、時間が余りあるほど十分があるので、それまで少しずつ学んでいた、量子力学をじっくりと勉強しております。特にディラックの量子力学（原書）を悪戦苦闘しながら、書いて読んでいます。ボケ防止に最適と思っています。

(昭和 43 年卒 神奈川県 今村雅明)

今年も同窓会に参加できました。最近健康を害して参加できない人が多いようです。今年の行事も同窓会（6 回）旅行会（5 回）OB 会（3 回）趣味の会（15 回）ふるさと会（5 回）と年間を通して多忙な毎日です。またパートで午前 4 時間働いています（月～土）。健康第一。

(昭和 43 年卒 千葉県 中村雅喜)

周りの友人達は、まだ働いて社会の為に頑張っていますが、私は仕事を止めて 1 年半経ち、気儘に旅行やゴルフ、地域の勉強会等楽しんでいます。同窓会等でみんなと会うのが楽しみです。

(昭和 44 年卒 埼玉県 古澤洋水)

今年は年明け早々痛ましい事件の訃報に接し悲痛の極みでした。高窪先生のご冥福をお祈り申し上げます。

私は、行政書士を開業して今年で 10 年の節目の年になりました。近頃感じることは、私の業務の一つである風俗営業許可申請がめっきり減っており、また、中小企業の工場が撤退した所に次々マンションが建ち並んできたことです。その様な現状を見るに付け景気後退による日本の製造の衰退を感じるこのごろです。

(昭和 45 年卒 東京都 保坂早苗)

会社人生も残り少なくなりましたが、日本のエネルギー供給の安定のためガンバッテおります。

(昭和 56 年卒 神奈川県 沼田徹夫)

2009年は大変な年になりました。カーボンブ  
ランも世間にならって売上げが激減し、創立以  
来の最低を更新するという月が続きました。

2010年は、開発に力を入れ、時を待つ忍耐の  
年になりそうです。

(昭和 60 年卒 埼玉県 手塚賢司)

前任校から東京情報大学 (=学校法人東京農  
業大学) へ移って 3 年半になりました。教育・  
研究に加え事務的な作業が増える傾向にあり何  
かと多忙ですが、元気に過ごしております。先  
日、同期生数人で会った時、皆もうすぐ 40 才  
という話しになり、時の経つのを改めて実感し  
ました。

(平成 8 年修了 神奈川県 松下孝太郎)

2009 年 11 月 29 日に結婚式をあげます。家  
庭を持つ責任を感じると共に、幸せを実感して  
おります。

(平成 10 年卒 東京都 住山 望)

新卒で入った米系コンサルティング会社アク  
センチュア(株)を卒業し、現在は(株)ビッグツリー  
キャピタルで主にインターネット関係の仕事  
をしています。個人では、投資用不動産を購入し、  
駆け出しの大家さんをしています。30 代は仕事  
もプライベートも、全力でチャレンジしてい  
きたいです。

(平成 12 年卒 東京都 巻口祐樹)

2 月に築山研究室のOB会に参加しましたが、  
現院生皆様が非常に活気に満ちていて、喜ば  
しい限りでした。築山先生も還暦を迎えられま  
したが、益々のご活躍を期待しております。

(平成 15 年卒 東京都 富田雅彦)

現在は、家電メーカーの半導体設計技術者  
として 5 年目になります。

会社同期にいる海外出身者とも仲良くして  
いたのですが、そのうちの一人がバングラディ  
シュ出身で、運良くバングラディシュの結婚  
式に招待され参加してきました。モノを作る  
作業が好きなので、来年 30 歳になる前に何  
かモノを制作しようと企んでいます。

(平成 16 年卒 東京都 加藤木 聡)

この度縁あって中大電気同窓会の仲間に入  
れてもらうことができました。SE として 6 年  
間働いた後、今は転職エージェントをしながら  
東京中を自転車で駆け回っております。久し  
ぶりに、理工ランチが食べたいです。

(平成 16 年卒 東京都 木嶋雅史)

来年から関西勤務です。初の一人暮らしで  
大変だと思いますが、頑張っていこうと思  
います。

(平成 21 年卒 埼玉県 中島 健)

---

今年も多数の会員からのお便りを掲載することが出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。1 年後の掲載とはなりますが、今後もこのコラムを充実したものにすするため、皆様からの投稿をお待ち致します。特に、平成年代卒の会員からの投稿が少ないので、近況等なんでも結構ですので投稿をお待ちします。

【事務局】

## 林直司氏講演要旨

**主題** “人生万事塞翁が「ガバナ」”

### 要旨

早期定年から起業し 17 名だった社員が 43 名になり、年商 11 億円の無借金経営続行中。  
その扱っている製品は総称して「ガバナ」、エンジンやタービン等の原動機に欠かせないエネルギーの制御機器です。

航空機から船、あるいは発電所やプラントの心臓部として、それらの性能を高く保つために使われています。

そんな、世界的な制御機器としての「ガバナ」について、その原理とアプリケーションを分かり易く解説します。

制御の発展により、排ガスを最小にし、効率を上げて[エコ]にも寄与します。

製品に加えて、今日までの紆余曲折、困難にぶつかる度に「ガバナ」が問題解決に役立ってくれました。

私の人生は、塞翁が「ガバナ」と言えましょう。

### 林直司氏の略歴

- 1943 年 1 月 長野県諏訪市に誕生
- 1965 年 3 月 中央大学工学部電気工学科卒業
- 1965 年 4 月 友人と輸入特許製品販売会社始める
- 1967 年 2 月 会社倒産により、ウッドワードガバナー(日本支社)入社
- 2002 年 3 月 ウッドワード社にて、営業部長、技術部長等歴任後早期定年退職
- 2002 年 2 月 株式会社ウッズ創立 (神戸市に本社工場開設)
- 2002 年 4 月 ウッズ創業 (ウッドワード社から数項目の営業譲渡をうける)
- 2006 年 12 月 ドイツ Schaller 社から日本総代理店の契約
- 2008 年 8 月 ウッドワード社から他の数項目の営業譲渡  
千葉県富里市に工場開設

## 【編集後記】

会誌発行委員会 委員長：昭和47年卒 飯塚 信市



会誌発行委員長を仰せつかって、二年目。冬季オリンピック、上海万博、菅総理誕生、ワールドカップ、参院選、小惑星探査機「はやぶさ」の地球帰還と、今年も様々なイベントの続く中、酷暑の夏が到来し、いよいよ本気モードで、皆様から頂戴した大切な原稿の編集作業に追われております。

「会員の方々に、より親しみやすい同窓会誌を」との編集方針の下、今年の間は、幾つかの新しい企画を採用しました。すなわち、会員の方々が学生時代を容易に思い出せるよう、会誌表紙には現在の校舎群全景写真を掲載すると共に、近い将来の姿も知っていただけるよう、新校舎建設計画の記事も掲載しました。また、できる限り広い世代の会員の活動の一端を皆さんに知っていただけるよう、声の欄につきましては、昭和年代卒業会員のみならず、可能な限り平成年代卒業会員の声も含まれるよう努めると共に、企業活動上又は社会活動上を問わず、投稿意志のある会員の方々には、紙面の制約を超えて、そのような皆さんの活動内容も掲載しました。さらに、修士課程を巣立つ卒業生の意気込みも知っていただけるよう、修士論文同窓会賞の受賞者の方々の所感も掲載しました。

結果として、些か、まとまりに欠ける同窓会誌となりましたが、20歳代前半から80歳代に至る広い世代を対象として今後も運営される同窓会という組織には、いわば3世代同居に合った会誌が必要だと思います。そのため、今後は、同窓会総会参加の返信用葉書のみならず、同窓会ホームページも利用して、できる限り多数の投稿を受け付けたいと思います。会員皆様のご協力を是非お願い申し上げます。

## 中央大学理工学部電気電子情報通信工学科同窓会 会誌第47号

発行所：中央大学理工学部電気電子情報通信工学科同窓会

〒112-8551 東京都文京区春日1丁目13番27号

FAX：(03) 3817-1847

URL：<http://www.elect-chuo.com/>

発行日：2010年10月1日

編集人：飯塚 信市

発行人：菱沼 一夫

## 同窓会総会・懇親会開催のお知らせ

平成22年度「同窓会総会」を下記の通り開催します。本年度の総会は、昭和40年卒の皆さんが「開催委員会」を設置し運営を担当いたします。また、総会終了後には「懇親会」を開催いたしますので、多数の卒業生の皆様にご出席賜りたくご案内申し上げます。

午後3時と早めの終了設定ですので、同期や研究室の仲間と二次会をお楽しみ下さい。

### 【記】

#### ★ 総会ならびに懇親会

日 時：平成20年11月20日（土） 12:00 ～ 15:00

会 場：上野 精養軒

住 所：東京都台東区上野公園4番58号 電 話：(03) 3821-2181

受 付：午前11時30分 受付開始

会 費：7,000円

但し、平成10年以降の卒業生：4,000円 及び 在学生：0円

総 会：12:00 ～ 12:30

講演会：12:30 ～ 12:50

講 師：林直司氏

テーマ：人生万事塞翁が「ガバナ」

懇親会：13:00 ～ 15:00

#### ★ 会場のご案内



#### 会場へのアクセス

- ① JR上野駅公園口・・・徒歩5分
- ② 京成上野駅・・・徒歩5分
- ③ 地下鉄上野駅・・・徒歩8分
- ④ 地下鉄御徒町駅・・・徒歩12分

返信葉書は、  
11月6日（土）必着で御投函下さい